

EVERY24 CASE STUDIES

チルド食品の 物流ケーススタディ集

ダイセーエブリー二十四株式会社



チルド食品の物流には、コスト・品質・保管・仕分けと、さまざまなお困りごとがあります。
エブリー24が実際にご相談を受け、解決してきた4つの事例をご紹介します。

CASE.1	コストカットしたい ⇒ 遠方への貸切・直行便を、中継拠点＋共同配送に切り替え	P.3
CASE.2	配送の品質を高めたい ⇒ 任せた後も「見える・連絡がつく」配送体制	P.8
CASE.3	冷蔵保管を活用したい ⇒ 配送だけではなく、一時保管・デポ化で商圈を広げる	P.13
CASE.4	仕分けを任せたい ⇒ 受注・仕分けごと任せて、製造に専念できる体制に	P.18
	まとめ・お問い合わせ 4事例の総括とご相談先について	P.23

CASE.1

コストカットしたい



遠方への貸切・直行便を、中継拠点＋共同配送に切り替え

業種	乳製品製造(食品メーカー)
商材	チルドの牛乳・乳製品
規模感	遠方の小売チェーン向けに長距離配送

ある乳製品メーカーは過去、自社商品を1台貸切のチャーター便で遠方の納品先まで届けていました。貸切便は、納品先を回るごとに荷物を降ろしていき、後半になるほど荷台が空いていきますが、料金は満載時と変わらないためコストが余分に発生します。積載効率の改善とドライバーの労働時間短縮によるコストカットが求められていました。

ケース概要

1 課題

- 納品を重ねるほど積載効率が低下するため、積載に関わらず貸切料金が満額でかかる
- 2024年問題で労働時間の制約が増し、長距離便のドライバー確保が困難になっている

2 提案

- 中継地点から先を共同配送にすることで支払いを「ケース単価」にし、余分なコストをカット
- 長距離区間の走行を中継地点での折り返しに変えることで運行時間やドライバーの負荷を軽減

3 効果

- 積載効率を気にせず適正なコストで配送
- ドライバーの労働時間を短縮

遠方への貸切・直行便を、中継拠点＋共同配送に切り替え

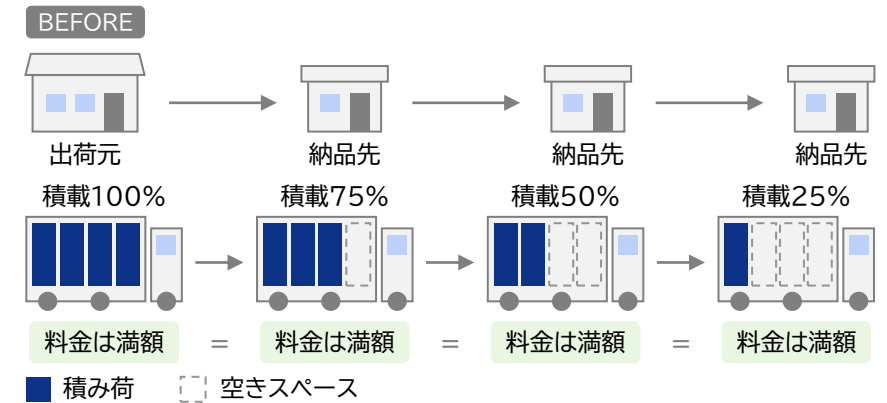
課題

1 積載効率の低下によるコストの増加

貸切便は納品先を回るごとに積み荷が減り、後半は空きスペースを走らせる状態に。
積載効率が落ちても貸切料金は満載時と変わらず、運んだ量に見合わないコストがかかっていた。

2 労働時間の上限（2024年問題）

ドライバーの労働時間制限により、人材の確保に加え、
1台ごとの配送範囲も限られ、納品先を追加する余裕がなくなっていた。



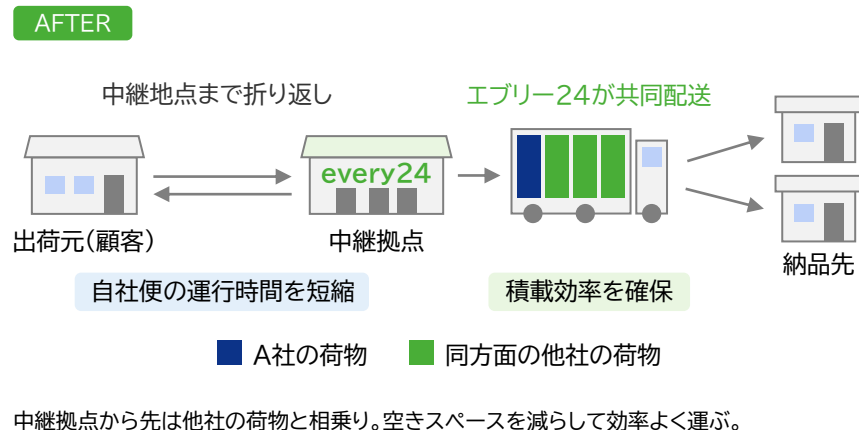
2～3か所に納品して遠方から戻る貸切便だと、積載が少なくても貸切料金は満載時と変わらない。

積載効率の低い貸切便がコストを圧迫。さらに労働時間の制約も重なり、
顧客の社内での「遠方への輸送体制」の維持も難しくなっていた。

遠方への貸切・直行便を、中継拠点＋共同配送に切り替え

採用したサービス

中継拠点＋共同配送



提案内容

- 1 エブリー24の拠点を中継地点とし、そこから先は共同配送へ
中継地点以降は他社の荷物と共同配送するため、顧客のトラックは折り返し運行のみ。
相乗りで積載効率を高められ、コストを削減できる仕組みに。
- 2 長距離配送から折り返しへ変更。運行時間の短縮へ
遠方への直接配送をなくし、中継拠点までの折り返し運行にすることで、
トラック1台分、ドライバー1名あたりの運行時間や労働時間を短縮。

遠方への貸切・直行便を、中継拠点＋共同配送に切り替え

得られた効果

- 1 中継拠点以降を共同配送にすることで、積載効率を気にせず適正なコストで運べるようになった。
- 2 折り返し運行により1配送あたりの運行時間が短縮され、ドライバーの労働時間削減にもつながった。

お客様の声

これまで貸切便を使用する際、積載がスカスカの日も満載の日も料金は同じでした。
エブリー24さんの共同配送をお願いし、
他社と相乗りすることで「運んだ荷物の分だけ」支払うためコストが大幅にカットできるように。
また、労働時間の問題もあり自社で長距離ドライバーを確保し続けるのも難しかったため、
運行時間の圧縮により採用面の心配も大きく解消されました

エブリー24担当コメント

長距離を往復する貸切便は、2024年問題のもと労働時間とコストの両面で限界を迎えがちでした。
エブリー24が持つ拠点を中継地点としてご活用いただき、
その先を共同配送にするだけで運行時間もコストも大幅に圧縮できた事例です。

CASE.2

配送の品質を高めたい



任せた後も「見える・連絡がつく」配送体制

業種	チルド食品メーカー
商材	チルドの日配食品
規模感	複数の納品先へ定期配送

物流を外部に委託すると、顧客は自社の商品が今どこにあるのかを把握できなくなりがちです。エブリー24では専任の営業が窓口となり、顧客別の配送ルートや配送時間を可視化・共有します。有事の際にもすぐに営業と連絡がつき、「自社の商品が今、どこでどうなっているのか」を確認できる安心感があります。

ケース概要

1 課題

- 委託すると物流の状況が見えない
- 変更やトラブル時の相談先が曖昧
- ドライバーごとの配送品質の差が不安

2 提案

- 専任の営業が窓口
- 配送ルート・配送時間の可視化や都度の変更共有を実施
- 教育されたエブリー24のドライバーが配送

3 効果

- ルートや時間の変更相談がすぐできる
- どの納品先に何時に届くかを把握できる
- 作業や対応にばらつきがなく、安定した品質で配送できる

任せた後も「見える・連絡がつく」配送体制

課題

1 委託すると物流が見えなくなる

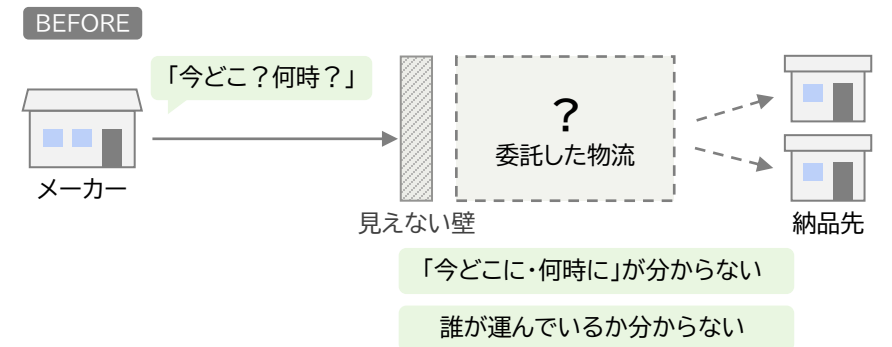
物流会社に任せきりだと、自社の商品がどの納品先に何時に届いているのか、顧客自身が分からなくなりがちだった。

2 変更やトラブルに対応しづらい

納品先の追加やルート変更が必要な際にも、誰にどう相談すればよいかが曖昧で対応に時間がかかった。

3 ドライバーごとの配送品質のばらつきが不安

委託先から協力会社(下請けの運送会社)への要望は通りにくく、担当ドライバーや配送品質にばらつきが出ないか不安が残っていた。



任せた物流の中身が見えず、「今どこに・何時に」が分からないブラックボックス状態。

物流を外部に任せた結果かえって
状況や所在が見えなくなり、
「本当に無事に納品されているのか」を
リアルタイムに確認できず不安が残っていた。

任せた後も「見える・連絡がつく」配送体制

採用したサービス

専任営業の配置＋
ルートや運行時間の可視化・情報共有＋
エブリー24のドライバーによる配送

提案内容

1 専任の営業が窓口

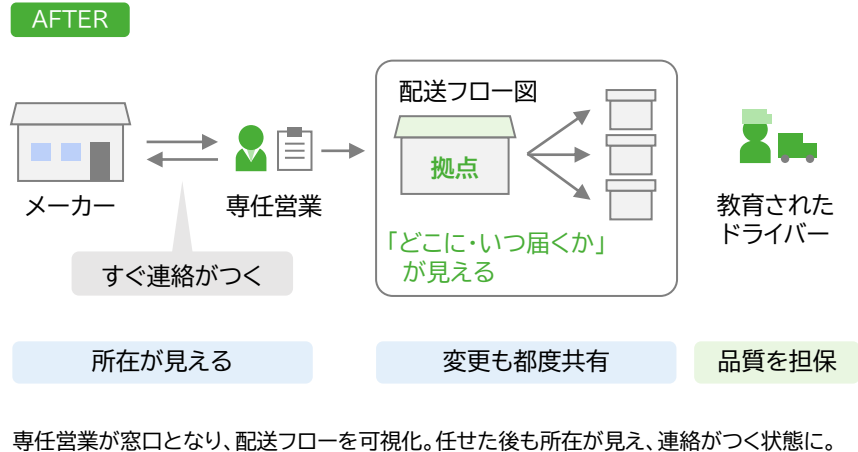
案件ごとに専任の営業がつき、顧客の商品の配送状況や配送体制をすべて把握したうえで対応。
有事の際もすぐに連絡がつき、状況を確認できる。

2 配送ルートや時間を可視化、変更も都度共有

配送の流れを顧客ごとに図にして明示。
納品先の増加・変更時には都度、新たに決定した中継地点やスケジュールを共有する。

3 教育されたエブリー24のドライバーが配送品質を担保

エブリー24のドライバーは、入社後の初任研修を受けたうえで乗務に入る。
乗務や搬入出作業について学んだ人材が配送の品質を担保する。



任せた後も「見える・連絡がつく」配送体制

得られた効果

- 1 どの納品先に何時に届くかを、顧客が把握できるようになった。
- 2 納品先の追加やルート・時間変更も、迅速に営業と相談・連携できる体制になった。
- 3 エブリー24内で教育されたドライバーが配送を担うことで、配送品質が安定した。

お客様の声

自社では見えていなかった配送の流れを図で示してもらえたことや、変更のたびに営業が状況を共有してくれるため、自社の商品が今どこにあるかをいつでも把握できるようになりました。台風などで納品が遅れる場面や、納品先の変更・時間指定が生じる際も営業とすぐに連絡がつき、ドライバーへの連携も迅速なため、安心して任せられます。

エブリー24担当コメント

物流の委託には「任せた後が見えない」「誰が運ぶのか分からない」という2つの不安がつきものです。エブリー24では専任営業が配送フローを可視化して都度共有し、配送は研修を修了したドライバーが担います。見える化と品質の両面で、安心して任せられる体制です。

CASE.3

冷蔵保管を活用したい

The image shows a low-angle shot of a modern building's exterior. The building has a light gray, horizontally-ribbed facade. Mounted on the upper part of the facade is a large, three-dimensional logo that reads "every24". The word "every" is in a lowercase, sans-serif font, and "24" is in a larger, bold, sans-serif font. Both are a vibrant green color. The building is set against a clear, solid blue sky. The perspective is from below, looking up at the building, which creates a sense of height and scale.

配送だけではなく、一時保管・デポ化で商圈を広げる

業種	キノコ・農産チルド食品メーカー
商材	チルドのキノコ・農産加工品
規模感	滞留・保管商品の在庫量:200パレット

あるキノコ・農産チルド食品メーカーは、遠方への直接配送による遅延と品質劣化のリスクから、商圈の拡大に踏み切れずにいました。
もともと配送をエブリー24に任せていたことから、「倉庫は空いていないか」という相談が始まり、配送から一時保管、さらにデポ運用へと広がった事例です。

ケース概要

1 課題

- ・ 自社倉庫だけでは一時保管に余裕がない
- ・ 遅延による品質劣化のリスクがある
- ・ リードタイムが長く、商圈を広げにくい

2 提案

- ・ エブリー24の冷蔵拠点を一時保管に活用し、在庫の置き場を確保
- ・ デポ経由で走行距離を短縮し遅延を軽減
- ・ デポ在庫で遠方にも短いリードタイムで納品

3 効果

- ・ 顧客は出荷前の在庫の置き場に困らない
- ・ 事故や悪天候による遅延を軽減
- ・ リードタイム短縮で商圈拡大に踏み切れる

配送だけではなく、一時保管・デポ化で商圈を広げる

課題

1 一時保管スペースが足りない

自社倉庫だけでは在庫の置き場が限られ、出荷前の一時保管に余裕がなかった。

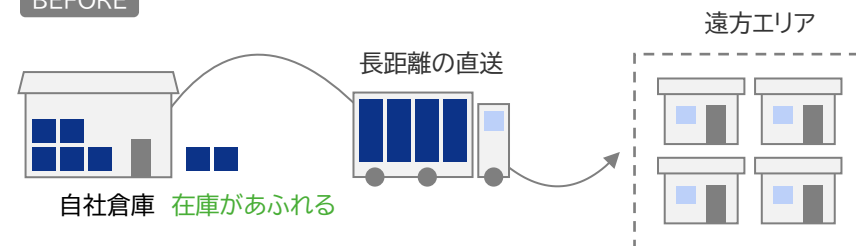
2 トラブル時の遅延の影響を受けやすい

工場から遠方までの直送の場合、事故や悪天候で到着が遅れると納品時間に間に合わなくなり、欠品となっていた。

3 リードタイムが長く商圈を広げにくい

工場からの直送の場合、遠方の取引先には短納期で応えられず、商圈を広げる判断がしにくかった。

BEFORE



一時保管のスペース不足、遅延による品質低下、長いリードタイム。これらが重なり、遠方への展開や商圈拡大に踏み切れずにいた。

配送だけではなく、一時保管・デポ化で商圈を広げる

採用したサービス

冷蔵一時保管 + デポ運用 + 共同配送

提案内容

1 冷蔵拠点を一時保管に活用

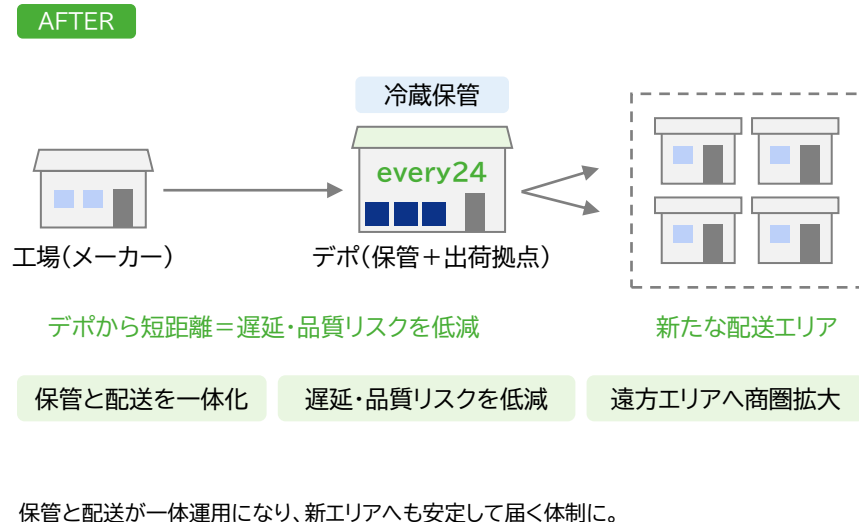
エブリー24の冷蔵拠点を出荷前の一時保管に使い、自社倉庫のスペースに余裕を作る。

2 デポ経由で遅延を軽減

納品先に近いデポを経由する運行に変え、走行距離を短縮。
事故や悪天候による遅延を受けにくくする。

3 デポ在庫でリードタイム短縮

デポに在庫を置き、遠方への受注にもデポから対応。直送より短いリードタイムで届けられる。



配送だけではなく、一時保管・デポ化で商圈を広げる

得られた効果

- 1 配送に加え一時保管も任せられ、出荷前の在庫の置き場に困らなくなった。
- 2 デポ経由で走行距離が短くなり、事故や悪天候による遅延を受けにくくなった。
- 3 デポ在庫から遠方に対応できるようになり、商圈を広げられた。

お客様の声

元々エブリー24さんには配送をお願いしていたため、
そのご縁から配送拠点を一時保管倉庫として活用させてもらえないかと相談しました。
これまでリードタイムの問題で踏み切れなかった商圈拡大も実現でき、
より多くのお客様に商品をお届けられるようになりました。
また、納品先にほど近いエブリー24さんの拠点に商品を一時保管することで、
災害時の供給停止リスクも大幅に下がり、納品先からも喜ばれています！

エブリー24担当コメント

配送のみのお付き合いから保管・デポへと広げられるのは、
全国に拠点を持つエブリー24ならではの。
「まずは地域密着で、いずれは配送エリアを拡大していきたい」という企業様にこそ、私たちの拠点網・配送網の価値を感じていただけます。

CASE.4

仕分けを任せたい



受注・仕分けごと任せて、製造に専念できる体制に

業種	チルド食品製造(食品メーカー)
商材	店舗別納品のチルド食品
規模感	納品先100か所分(東海・北陸エリア)

エブリー24が受託するのは配送だけではありません。

受注のやり取りから店舗別の仕分けまで、配送の手前の工程ごと引き受けられるのも大きな特徴です。

仕分け業務には汎用のシステムを導入しており、スタッフ数名が昼から夕方までで完結できるよう運用を標準化しているため、商品の新規導入、入れ替えなどにもスムーズに対応できます。

ケース概要

1 課題

- 店舗別の仕分けに人手を取られる
- 受注対応に追われ製造に集中できない

2 提案

- 受注から出荷までの体制ごと受託
- 汎用システムを活用しセンター業務を標準化

3 効果

- 仕分けにかかる人手を製造に回せる
- 商材が追加されてもスムーズに委託でき、製造に専念できる

受注・仕分けごと任せて、製造に専念できる体制に

課題

1 仕分け作業に人手を取られ、製造にかける人手が不足する

店舗別・納品先別の仕分け作業に人員を割かれ、製造の手が止まっていた。

2 受注対応に追われることで、製造に集中できない

受注のやり取りや出荷準備に追われ、本業の製造に集中しづらかった。

BEFORE

メーカー社内



人手が受注・仕分けに取られ、製造が手薄に

受注から仕分けまで自社で抱え、製造に専念できる状態ではなかった。

受注・仕分けの作業負荷が、本業である製造の時間とリソースを圧迫していた。

受注・仕分けごと任せて、製造に専念できる体制に

採用したサービス

受注代行＋店舗別仕分け（流通加工）

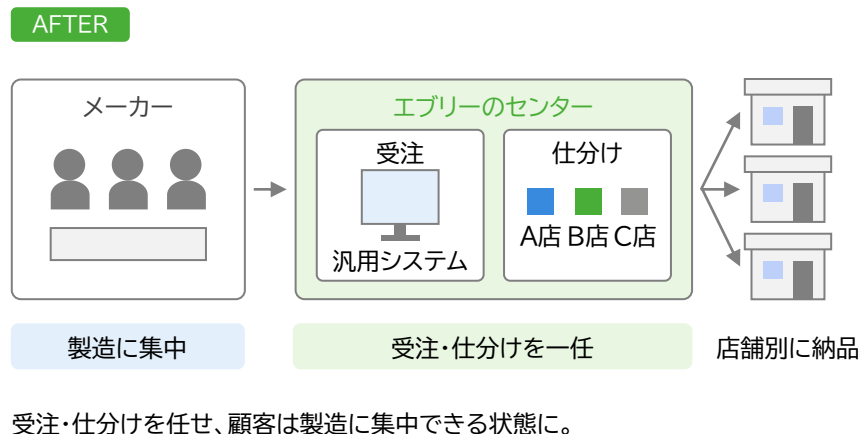
提案内容

1 受注体制ごと受託

受注のやり取りから出荷までをエブリー24が受け持ち、顧客が製造に専念できる体制を作る。

2 汎用システムで業務を標準化

メーカーが異なる場合も汎用的に使える業務システムを活用。商材の追加時も作業は標準化されているため、大きな混乱もなく迅速に受け入れできる。



受注・仕分けごと任せて、製造に専念できる体制に

得られた効果

- 1 仕分け業務をエブリー24に任せることで、製造のための人的リソースを十分に確保できるようになった。
- 2 商材を追加してもスムーズに受注を委託できる体制が整っており、顧客は製造に専念できるようになった。

お客様の声

人手不足で受注対応や仕分けにまで手が回らずにいるという課題をエブリー24さんにご相談しました。

正直、保管はお願いできても受注や仕分けまで対応してもらえないとは思っていませんでしたが、センター業務を丸ごとお任せできることに。

受注体制を一任でき、製造に集中できる体制が整いました。

エブリー24担当コメント

「仕分けや受注対応に人手を取られて製造に集中できない」。これは多くの食品メーカーに共通する悩みです。長年食品の配送を担う中で、その手前の保管・受注・仕分けまで標準化して整えてきたエブリー24だからこそ、センター業務まで丸ごとお引き受けできます。

① 全国31拠点の配送網

全国31拠点の共同配送網で「送りたいところにスムーズに届ける」を実現します

② 24時間365日稼働

年中無休・24時間体制で稼働しているだけでなく、有事の際にも専任の営業がすぐに対応します

③ チルド特化40年の専門性

リードタイムの短い食品を新鮮に届けるだけでなく、受注・仕分けからお任せいただけるノウハウがあります

※「エブリー24の強み」ページより(<https://www.every24.co.jp/about/strength-every24/>)

お問い合わせ

まずはお気軽にご相談ください

事例に近いお困りごとから、最適な解決策をご提案します。

TEL:0586-67-3580

お問い合わせフォーム:<https://www.every24.co.jp/contact/>

右図のQRコードを
スマートフォンで読み
取ると、お問い合わせ
フォームに遷移します。

